平成30年度

羽ばたく力を、
子ども時代に

杉並区立

# 井荻小学校

# 自然から学ぶ

## ぼくらの学校はビオトープの中にある

**生き物たちの生態系がはぐくまれる場所、ビオトープ。**
**善福寺の自然に包まれた井荻小は、まさにビオトープの中にある学校です。**
**そのすばらしさを知るだけでなく、問題点とも向き合うのが井荻小の環境教育。**
**「ふるさとから学び未来を創る」子を育てています。**

井荻小の環境教育の2つの柱

## 1 野鳥観察

緑の木々と豊富な水。善福寺の自然を求めて飛来する野鳥は多彩です。井荻小では、平成16年度から授業の一環として野鳥の観察をおこなってきました。野鳥の種類や生態に詳しくなるだけでなく、自然環境を考えるきっかけになっています。

先生は「すぎなみ環境ネットワーク」のみなさん。

井荻小オリジナルの野鳥観察ノート。表紙は図鑑に。

高倍率の望遠鏡で、遠くの鳥もすぐ近くにいるみたい!

### 善福寺公園

1、2年生はここで自然とふれあい、3年生以上は野鳥観察会をおこないます。野鳥の名前を学ぶだけでなく、「植物があり虫がいるから鳥が集まる」という生物のかかわりも学びます。





パン親子

### おその井川(遅野井川)

井荻小の子どもたちが、柵で囲まれた水路を安全で遊べる場所にしたいと区に提案。今年度7月21日から子どもが遊べる川に生まれ変わります。









### 東京女子大キャンパス

広い敷地に豊かな緑があふれる東京女子大キャンパス。大学のご協力を得て、1・2年生の子どもたちが自然観察や昆虫かんさつをしています。つかまえた昆虫はかんさつ後、自然にかえしています。



キンクロハジロ

井荻小は「都内愛鳥モデル校」の指定校です

東京都は、野鳥の観察や保護、環境保全活動に力を入れている学校を「愛鳥モデル校」として指定しています。

認定マークと、南門に掲示されているプレート。

※このページで紹介しています野鳥の写真はすべて、善福寺公園周辺で撮影されたものです。撮影者:学校支援本部　土屋一平

コゲラ

カルガモ

カワセミ

アオサギ

井草八幡宮

### 善福寺川

学校の敷地内を流れる善福寺川。雨の日は増水して下水が川に流れ込むことがあるので、「雨が降ったら洗濯しないで」と呼びかけています。

### 井荻いきものランド

理科室の前には本格的な水槽が。世界の熱帯魚もいれば、善福寺川の川魚も泳いでいます。まるで水族館!

ジョウビタキ

井荻小学校

荻窪中学校

### 井荻小学校の校庭

校庭だからとあなどってはいけません。珍しい鳥が飛来し、木々は季節ごとに実をつけ、ときにはヘビや巨大グモが顔を出すことも。

プールで育ったヤゴを救出して飼育します。

メジロ

### 井荻小の子どもたちが区を動かした

平成26年、「善福寺川の上池と下池をつなぐ水路を、水辺で遊べる小川にしたい」と、当時の6年生が設計図を杉並区長に提出しました。それは区の総合計画に位置付けられ、善福寺川の再生を推し進める事業のひとつとして動き出しました。

## 2 善福寺川調査

学校の中を善福寺川が流れる井荻小。コンクリートに囲まれた都会の川ですが、実は目をみはるほど多彩な生物が棲んでいるのです。3年生〜6年生が川の中に入って水質調査や清掃活動をしています。放課後には6年生がボランティアで遊歩道のごみ拾い。その功績が認められ、毎年「**杉並区青少年善行表彰**」を受けています。

学年が上がると活動内容も変わり、川についての学びが深まります。

COPとPHの調査

川での清掃活動。川で拾ったゴミは数キロにも。ゴミの種類も調査。

### 野川公園でも川の調査

5年生は野川公園で環境調査。善福寺川と比較しながら未来の川について考えます。

# どの子も伸びる

## 特別支援教育だけど「特別」じゃない

井荻小の特別支援教育の3つの柱

特別支援教育は「特別な支援を必要とする子のための教育」と思われがちです。
でも実際にやってみると、すべての子にとって「あると便利」「わかりやすい」と感じる方法だと気がつきました。
学校と家庭が同じルールで子どもを支え、どの子も伸びる教育を実践します。

### 1 井荻スタンダード
## 約束ごとをそろえよう!

どの学年でもどのクラスでも、約束ごとが同じである方が不安や戸惑いが少なくてすみます。学校生活の基本となるルール「井荻スタンダード」は、学年が上がっても、担任がかわってもずっと同じ。安心して学習に取り組めます。

**くつ箱**

**机の中**

**ロッカー**

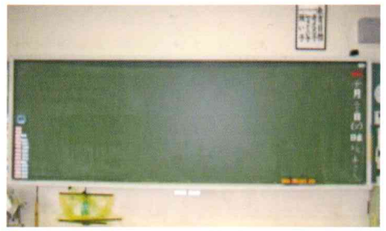
**座る姿勢**

ピン・ピタ・グー

### 2 環境スタンダード
## 集中できる教室づくり

黒板のまわりに「クラス目標」などをにぎやかに掲げる学校は多いですが、井荻小はちがいます。教室全面には本当に必要なものだけを残し、集中して授業に向かえる環境づくりをしています。全学年・全クラス、統一です。

**教室の前面**



授業に集中できるよう、黒板のまわりは常にスッキリ。

掲示板に貼るものは、どのクラスでも決まった位置に。

**ろうか**

横一列にスッキリ並んだフック。かけやすく、ストレスもなし。

**つくえ・いす**

ギイギイと音が出ないように、つくえといすの脚には専用キャップを装着。

### 3 授業スタンダード
## 全員参加の授業の工夫

一斉授業では集中力が続きにくい子、先生の言葉が耳に届きにくい子もいます。そんな子のために工夫をしたら、どの子にもわかりやすい授業になりました。

**視覚化**

学習の内容、作業の時間などを、文字や時計などで「見える」化します。

**体験的活動**

実物を見せたり、実際に作ったりすることで興味を引き出します。

**学び合い**

ペアタイム
2人1組で教え合うことで、小さな疑問を解消します。

グループタイム
少人数集団で役割を果たし、積極的に授業参加を。

## こんなときは…

### ルールが守れない! 忘れ物が多い!

叱ったり、罰を与えたりしても根本的な解決にはなりません。原因は何か、どうすればできるようになるのかを、子どもといっしょに話し合うことが必要です。それを実行してみて、できたらほめ、できなければもう一度話し合います。学校でも家庭でも、時間をかけて同じ視線で取り組みます。

### 学び残しや遅れがあって 一斉授業についていけない。

学習支援教員がついて授業中のサポートをしたり、特別支援教室(スタディルーム)で個別指導を受けるなどの対策をします。「どの子にどんな配慮をすべきか」は、校内委員会で検討し、決定します。

### 友だちとのつきあい方が むずかしい

コミュニケーションの力や表現力を学ぶ「いおぎ教室」が開級しました。保護者と学級担任、指導教員を結ぶ専門委員も勤務しています。教育委員会に申請を出して利用がきまります。まずは専門委員、校内委員会にご相談を。

いおぎ教室

### 校内委員会とは?

校長、副校長、特別支援教育コーディネーター(担任経験のある教員、養護教諭の3名)で組織され、困っている子だけでなく、困っている保護者や教員の支援についても相談します。

# 地域の力

## 子どもが真ん中、大人はつながり輪になろう

井荻小には、常識を超える学校支援本部があります。その名も「いおぎ丸」。
エネルギッシュな大人たちが「子どものためにやってあげたい」と、
さまざまな活動をしています。
子どもを中心に、井荻の人たちが結びつく場にもなっています。

いおぎ丸は
5つの部門で
学校支援

### 1 授業のサポート
## 学習支援部

体験活動や特別授業の
講師（ゲストティーチャー）を招きます。
野鳥観察会や川の調査もそのひとつです。

善福寺川の調査。学校支援本部が学校に働きかけてスタートしました。

年1回の観望会を支援。月を観測した後は月見団子。

校舎壁面を使って読み聞かせ。

東京でも自然のホタルを観察にフィールドトリップ。
（いおぎ自然体験）

放課後には「トトロの教室」で国語と算数の復習教室を実施（１～３年生）

小千谷に稲刈りに行こう！田んぼの角の稲を刈ってコンバインが入るよう援農。（いおぎ自然体験隊）

### 2 子どもを見守る
## 健全育成部

朝あそび、おやじの会、いおぎ土曜クラブ、安全パトロール隊……、
校庭にそびえるメタセコイヤのように子どもたちを見守ります。

おやじの会の親子スポーツ大会。
ほかにも「水鉄砲大会」「まっくらくらす（防災キャンプ）」を実施。

「いおぎ土曜クラブ」はなんと56講座も！
写真上：みそづくり。
右上：おこと教室。

晴れていれば、毎朝校庭で遊べます！
朝7時40分から健全育成部が見守ります。

学校支援本部事務局主催のバザーは毎年大盛況。
売り上げは活動資金となります。

いおぎ丸応援バザーではごみを減らす川を汚さない「ディッシュリユース」体験コーナーもあります。

### 3 通称「のら部」です
## 環境部

花壇の手入れはもちろんのこと、近隣の人にも人気の良質な腐葉土もつくっています。
井荻小は、植物の宝庫でもあるのです。

肥料をまいたり、伸びた葉をかったり、いおぎの芝は輝いています。

落ち葉を集めて踏み踏み。栄養たっぷりの腐葉土づくりです。

### 4 読書体験を支える
## 図書部

本を愛するメンバーが集まって、本の貸し出し、
図書修理、本の展示や読み聞かせを行います。

1カ月に1回、各教室に一人ずつ入って読み聞かせ。本は各自選んでいます。

壊れた本を丁寧に修理する図書ボランティア。

入りやすい図書館にしたくて、飾りつけの工夫も。

### 5 「いおぎ丸だより」発行
## 広報部

膨大ないおぎ丸の活動を、「いおぎ丸だより」の形で伝えていきます。
ホームページにも情報をアップ。

いおぎ丸だよりは年に１回発行。
活動が多すぎて載せきれません！

### 学校図書館が調べ学習をサポート

野鳥観察や川の調査をはじめ、調べ学習がさかんな井荻小。6年間の調べ学習の成果は一冊のファイルにすべてまとめています。どんな課題を設定したのか、それをどのように調べ、まとめたかを積み上げることは、大きな価値があります。その成果を振り返り、子ども達が自ら考えるようにもなるのです。学び方を学ぶ、それが調べる学習の目的です。

# 校歌

作詞　並木　弥七郎
作曲　浦　広海

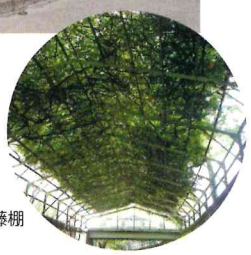
一　みどりに映ゆる
学び舎は
誇りも高く輝けり
希望に燃ゆる
よろこびを
共に歌わん
ああ井荻

二　ゆかりも深き
善福の
清らに湧ける
流れあり
富士の高嶺の
理想もて
共にたたえん
ああ井荻

井荻小学校の校舎は、中庭があり、児童の楽しそうな声が響いています。

中庭に備え付けられた鳥の巣。「鳥の学校」ならではの風景。

井荻小学校の一番の特長は、校庭の中を流れる善福寺川。藤棚におおわれて、春には薄紫のきれいな花を咲かせます。



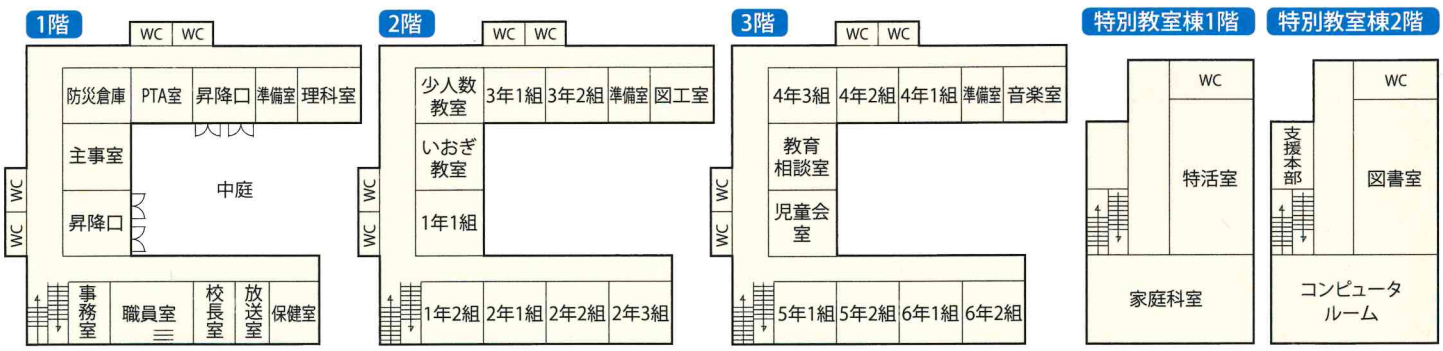
川から見上げた藤棚

平成29年4月に校庭の東側が一部芝生になり、休み時間には裸足で芝生を楽しんでいます。



校庭には、カラフルな築山が鎮座。

南門の横には、学校を紹介する様々な展示物が掲示されており、地域のひとたちに情報を発信しています。





**杉並区立　井荻小学校**

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1丁目10番19号
TEL.03-3390-3141　FAX.03-3390-4829
http://www.suginami-school.ed.jp/iogishou/


- JR中央線西荻窪駅より→徒歩13分
- JR荻窪駅よりバス→桃井4丁目下車5分
- JR吉祥寺駅よりバス→地蔵坂・荻窪中学校下車1分
- 西武新宿線武蔵関駅・上石神井駅よりバス→井荻小学校前下車1分